



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 平成23年 第4回定例会 代表質問

山田はるひこ議員は、9月14日に開催された、市議会定例会で公明党を代表して質問に立ち、東日本大震災から半年が経過した現在、市民生活を守るための防災危機管理対策の強化をはじめ緊急経済対策や救急医療、がん対策など市民に直結した施策を迅速かつ的確に、推進することが重要として21項目にわたる質問をいたしました。



質問に立つ山田議員

## 災害情報の充実を!

災害時の情報伝達の拡充について取上げ、情報を一斉に配信できるエリアメールをNTTドコモ1社から他社携帯への拡充について対応を質しました。

市は「平成24年春よりKDDI・ソフトバンクによるサー

ビスが開始する」と答弁しました。

また避難所となる市立小・中・高の体育館121カ所に、避難者がニュースや安否情報を知るための屋内テレビ用アンテナを整備することが明らかになりました。

## 高層マンションの震災対策を急げ!

震災時、高層マンションでは、停電によりエレベーターや水道、といったライフラインが停止し、高層階が孤立化することが懸念されると指摘、中間階への備蓄倉庫の確保や高層マンションを建設する際の基準を設

置すべきと対応を求めました。

市は備蓄を行うスペースの確保や、低層階部分に直結給水方式トイレの設置などの確保を促す指導基準を年度内に策定すると答弁しました。



## 大腸がん検診無料クーポン券始まる!

公明党が推進してきた、がんの早期発見のための検診、乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券に続き、大腸がん検診の無料化が実現しました。

市は40・45・50・55・60歳の方を対象に24年2月まで実施。いずれも23年4月1日時点の年齢が対象で、無料クーポン券と検診手帳が個別に送付されることが、今回の質問で明らかになりました。

なお、対象者で既に受診され

た方は、区役所の保健福祉センターで手続きすれば償還払いを受けることが出来ます。

**定例会ダイジェスト**

大腸がん無料検診の周知を  
「川崎市議会」山田 晴彦議員は、災害発生時に市内全域の携帯電話へ災害情報などを一斉配信する「エリアメール」について、対応を求めた。市側は、クーポン券を指摘し、市の対応を求めた。市側は、10月上旬に個別に送付する予定と明らかにするとともに、「一般広報も併せて実施する」と答えた。

公明新聞(9/29付)

## 中小企業 緊急支援を!

市内中小企業者が厳しい経営状況におかれていることから緊急支援の対応を質しました。市は、円高対策特別窓口の設置ほか、受注確保支援としての受発注商談会の開催や資金繰りを支援する低利の円高対策緊急資金を10月1日から実施すると答弁しました。